学校番号	T3036

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）絵画制作	単位数	２単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まずは基礎的なデッサン・クロッキーを行ったあと、一枚の絵画制作に時間をかけて、取り組みます。授業の最後には振り返りノートを書き、次回の授業にいかせるよう自分なりに課題等を記入します。また、丁寧さも評価対象となるため、最後まで集中して作業し、自分らしさを大切に、作品と向き合いましょう。

2　学習の到達目標

（１）色彩についての知識や、スケッチ、デッサンなどの技法について身につける。
（２）作品の中に自身の個性やアイデアを表現し、伝えることができる。
（３）作品制作を通して、ねばり強く物事に取りくめる姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・色彩についての知識を身につけている。 ・スケッチ等、芸術的な技能を身につけている。	・個性を表現することができ、また自分のアイデアを大切にしている。 ・他の作品発表で、作品の良い点を考えることができる。	・意欲的に作品制作に取り組もうとしている。自分の作品と向き合い、改善しようとしている。 ・振り返りノートが書かれている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～9月	デッサンとクロッキー	基礎的なデッサンとクロッキー	a:絵画制作の基礎的な知識を身につけることができる。 c:集中して授業に取り組むことができる。	プリント		振り返りノート
	小作品	小作品(習作)の作成	b:個性的な作品を作ることができる。 c:最後まで集中して作業ができる。		作品提出	振り返りノート
	作品準備	作品のアイデアスケッチ	a:丁寧にスケッチすることができる。	プリント		
	作品制作	作品制作	b:個性を表現することができる。 c:作品を作り上げることができる。		作品提出	作品提出
10月～2月	作品制作・発表	作品の制作 作品の発表、反省	a:芸術面での反省点を見つけることができる。 b:自分の作品の工程や、工夫点を発表することができる。	振り返りノート	発表	
	作品制作	作品制作	b:個性を表現することができる。 c:作品を作り上げることができる。		作品提出	作品提出
	作品の完成	作品の発表、鑑賞、反省	b: 他の作品を見て、工程や色彩についての自分が良いと感じたところを見つけることができる。 c:作品制作を通しての改善点や、工夫した点をノートにまとめることができる。		発表	振り返りノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度